

国立大学法人東京医科歯科大学学長の再任の審査結果について

2022年6月30日

国立大学法人東京医科歯科大学

学長選考・監察会議

田中雄二郎学長の任期が、2023年3月31日付けで満了することに伴い、国立大学法人東京医科歯科大学学長選考・監察会議(以下「学長選考・監察会議」という。)は、国立大学法人東京医科歯科大学学長選考・監察会議規則及び国立大学法人東京医科歯科大学学長選考に関する細則の規定に基づき、学長の再任の審査を行い、下記のとおり決定しました。

記

1 次期学長予定者氏名

氏名： 田中 雄二郎(たなか ゆうじろう)

2 任期

2023年4月1日～2026年3月31日(3年)

3 審査結果

再任を可とする

4 選考理由

学長選考・監察会議は、田中雄二郎現学長が、2023年3月31日をもって任期満了を迎えることから、「国立大学法人東京医科歯科大学学長選考・監察会議に関する細則」第5条で規定されている再任の審査手続きに基づき、提出された大学運営についての所信の確認及び面談(プレゼンテーション及び質疑応答)による審査を行った結果、その再任を可とする決定をした。

同学長は、これまでの任期中に、新型コロナウイルス感染症の蔓延という未曾有の危機においても、教育、研究、診療、管理・運営(施設、財務を含む)および社会貢献等の大学業務全般にわたり、きめ細やかな配慮と共に、リーダーシップを発揮して種々の施策を実施し、十分な成果を上げている。

また、自立と協調の組織への転換、財政基盤の充実、外部組織との連携交流の拡大の3つの取組等、第4期中期目標の達成及び未来社会への貢献に向けた明確な方針を有しており、優れたリーダーシップにより東京医科歯科大学の更なる発展を牽引することが期待できる。

これらを踏まえ、学長選考・監察会議は、同学長が学長選考・監察会議の定める学長に求める資質・能力を十分に有しており、引き続き学長の任に当たっていただくことが最適であると判断し、その再任を可とする決定をした。

同学長には、本学の叡智を最大限に引き出して、未来社会への貢献を目指し、所信を完全に実現することを期待する。

5 選考過程

2021年11月19日

学長選考会議において再任審査手続及び2021年度学長の業務執行状況確認の実施方法等について検討した。

2022年2月4日

学長選考会議において2021年度学長の業務執行状況の確認及び学長再任審査について検討を行った。

学長再任審査にあたり、「求められる学長像(2019年9月12日制定)」について、再任審査においては踏襲することを決定した。

学長選考会議終了後、田中雄二郎学長へ「任期満了にかかる再任の意思確認について(依頼)」を通知した。

2022年4月1日

田中雄二郎学長の再任意思の確認を受け、再任審査の実施を公表した。

2022年6月27日

学長選考・監察会議の議長が田中雄二郎学長の「大学運営に対する所信」を受領した。

2022年6月30日

学長選考・監察会議において、所信表明を聴取した後、質疑応答を行い、審議のうえ、再任を可とする決定を行った。